

- 問1 発展途上国の生産者の生活向上や自立を支援することを目的として、現地の農産物や製品を不当に安く買い叩くのではなく、適正な価格で継続的に取引する仕組みを何と呼びますか。 (2019年 群馬県公立入試 類似)
1. フェアトレード (公正取引) 2. 非政府組織 (NGO) による無償援助 3. 政府開発援助 (ODA) 4. 自由貿易協定 (FTA)
- 問2 日本の行政機関のうち、かつて深刻化した公害問題への対応を契機に設置された組織を前身とし、現在は自然環境の保護や地球温暖化対策、持続可能な社会の実現などを専門に担っている省庁はどこですか。 (2018年 兵庫県公立入試 類似)
1. 経済産業省 2. 厚生労働省 3. 環境省 4. 国土交通省
- 問3 1人を1km運ぶ際の環境負荷を輸送機関ごとと比較したとき、自動車はエネルギー消費量が約613kcal、二酸化炭素排出量が約147gであるのに対し、鉄道 (路面電車を含む) はエネルギー消費量が約104kcal、二酸化炭素排出量が約22gとなっています。このような路面電車の特徴をふまえ、持続可能な社会を目指す都市において路面電車が導入される主な理由として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 岩手県公立入試 類似)
1. 自動車に比べてエネルギー消費量は多いが、二酸化炭素を全く排出しないため 2. 1人あたりのエネルギー消費量がバスの約2倍であり、都市の移動速度を最優先できるため 3. エネルギー消費量と二酸化炭素排出量がともに少なく、環境への負荷を低減できるため 4. バスよりも二酸化炭素排出量が多く、大量のエネルギーを効率よく消費できるため
- 問4 発展途上国で生産されたコーヒーやカカオなどの農産物は、国際的な価格変動や不利な取引条件により、生産者が十分な利益を得られず貧困から抜け出せない原因となることがあります。こうした課題を解決するために、消費者の立場から、生産者が生活を維持し自立できるよう、農産物や製品を適正な価格で継続的に買い取る取り組みを何といいますか。 (2019年 秋田県公立入試 類似)
1. バイオマス 2. モノカルチャー 3. セーフティネット 4. フェアトレード (公正取引)
- 問5 経済のグローバル化が進むなか、発展途上国で生産された農産物や製品を、単に安価に取引するのではなく、生産者の生活向上や自立を支援するために、継続的に適正な価格で取引する仕組みを何といいますか。 (2023年 三重県公立入試 類似)
1. 保護貿易 2. 国際フェアトレード認証 3. 地産地消 4. 自由貿易
- 問6 開発途上国の生産者の自立を支援することを目的として、農産物や手芸品などを、市場価格の変動に左右されず適正な価格で、継続的に買い取る取り組みを何といいますか。 (2022年 香川県公立入試 類似)
1. フェアトレード 2. 経済連携協定 3. 政府開発援助 4. 自由貿易
- 問7 2015年にフランスで開催された会議 (COP21) において、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出削減を目指して採択された国際的な枠組みを何といいますか。 (2023年 岐阜県公立入試 類似)
1. ラムサール条約 2. パリ協定 3. ワシントン条約 4. 京都議定書
- 問8 二酸化炭素の総排出量が非常に多い中国やアメリカ合衆国の現状や、先進国における一人あたりの排出量の多さが問題となる中で、1997年の気候変動枠組み条約締約国会議で採択された「京都議定書」が果たした役割として正しいものはどれか。 (2015年 山口県公立入試 類似)
1. 発展途上国のみを対象として、熱帯雨林の保護と引き換えに先進国からの資金援助を定めた 2. 先進国に対して、温室効果ガスの排出削減を法的拘束力のある数値目標として義務づけた 3. 絶滅のおそれがある野生動植物の国際的な取引を規制し、生物多様性の保全を義務づけた 4. すべての締約国に対して、世界の平均気温上昇を産業革命前と比べて2度未満に保つ目標を課した
- 問9 各国の発電電力量の内訳を比較した際、原子力が約7割を占めるフランスや、水力が約6割を占めるブラジルに対し、日本の電源構成にはどのような特徴と背景がありますか。 (2024年 岩手県公立入試 類似)
1. 二酸化炭素を排出しない水力発電を最優先しているため、火力発電の割合は世界で最も低い水準にある。 2. 火力発電への依存度が約75%と極めて高く、その燃料となる化石燃料の多くを海外からの輸入に頼っている。 3. 火山列島であるため地熱発電が電源の過半数を占めており、エネルギー自給率は他国に比べて極めて高い。 4. 平地が少ないため大規模な発電所の建設が難しく、小規模な太陽光発電が全電力の約8割をまかなっている。
- 問10 地球温暖化などの気候変動によって、私たちの生活にはすでに様々な影響が始まっています。温室効果ガスの排出を抑えるといった原因への対策だけでなく、どうしても避けられない気候変動の被害をあらかじめ回避・軽減するために、社会の仕組みや行動を調整していく取り組みを何と呼びますか。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)
1. 循環策 2. 緩和策 3. 保全策 4. 適応策
- 問11 地球温暖化が日本の農業に与える影響について、収穫量や品質の観点から説明した記述として、正しい背景を選びなさい。 (2026年 広島県公立入試 類似)
1. 二酸化炭素濃度が高まることで光合成が促進され、すべての地域で収穫量が増加し、農業経営が安定する。 2. 熱帯地方の病害虫が日本に侵入できなくなるため、農薬の使用量が減り、品質が向上する。 3. 気温の上昇により栽培適地が移動する一方で、従来の産地では気温が高くなりすぎることによって品質の低下が生じやすくなる。 4. 高緯度地域への栽培適地の北上により、日本全国で冷害による被害が完全に解消される。
- 問12 国際社会においてフェアトレードの重要性が高まっている背景として、途上国の生産現場で生じている課題と、この仕組みが目指す解決策の説明として正しいものはどれですか。 (2026年 愛媛県公立入試 類似)
1. 市場価格の暴落により生産者が困窮するのを防ぐため、最低買い取り価格を設定して生産者の生活を安定させる。 2. 特定の国からの輸入を制限することで、国際市場における製品の希少価値を高め、価格のつり上げを図る。 3. 途上国の工業化を急速に進めるため、農産物の生産をやめて製造業へ転換するための資金を供与する。 4. 先進国の企業が途上国に工場を建設し、現地の安価な労働力を活用して生産コストを最小限に抑える。